

Q38

中心静脈カテーテルが挿入されている場合、点滴回路に輸液用フィルターを使用する意義はあるのでしょうか？

A

CDCガイドラインでは、インラインフィルターを感染制御目的でルーチンに使用してはならないと推奨しています。フィルターの支持は、①汚染輸液からの感染の危険性を減らす、②大量の薬物投与が必要な患者や輸液由来静脈炎がすでに生じている患者における静脈炎の危険性を減らす、③静注溶液に混入しているかもしれない微粒子物を除く、④汚染している輸液に混入しているグラム陰性菌によって産生されるエンドトキシンをろ過する、ことなどがあります。しかし、輸液に由来する血流感染は稀であり、薬局で微粒子を取り除くための輸液のフィルター処理を実施しており、ラインそれぞれに輸液フィルターを配置するより効率的であるというのが理由です。また、米国ではカテーテルを管理する医療従事者への教育も十分に整っています。

看護師が処置室で輸液を作製し、十分なカテーテル管理教育も実施されていない状況で、フィルターの有無が感染率にどのように影響するかのエビデンスはありません。また国内でフィルターを廃止した施設もありますが、フィルターの有無だけで感染の効果をはかっているわけではなく、カテーテル管理全体の質が改善された上での実施になっています。

それぞれの施設で、カテーテル管理、輸液管理全体を見直した上で、フィルターを廃止するか否かを決定するとよいでしょう。またカテーテル関連血流感染サーベイランスを実施して評価することが望まれます。

文献

- 1) 矢野邦夫訳：血管内カテーテル由来感染予防のためのCDCガイドライン。メディカ出版、大阪、2003

(高野八百子)